

言語系教科マネジメントコース (国語)

言語系教科マネジメントコース(国語)では、国語科授業に関わる諸問題について、指導法(カリキュラム・シラバス、生徒の資質・力を高める指導、授業づくり、学習評価、言語習得など)及び専門的事項(言語表現、文学表現、言語構造、言語文化、言語教育、コミュニケーション、異文化理解)を幅広く探究します。

- ・働きながら通える(夜間コースあり)
- ・教育成果を学会発表できる(言語表現学会)
- ・人脈が増える(現職教員とストレート院生が多数)
- ・実践知を高められる(豊富な演習授業)

ことばのエキスパートを育てる



教授 菅井三実

【研究分野】
理論言語学、日本語学、言語教育
【担当科目】言語の仕組みと言語教育

【メッセージ】

日常生活の中で実際に接する言語表現を取り上げて、その原理や理論的な意義を考察します。認知科学と現代日本語学における具体的な研究知見を踏まえて、言語教育における内容と方法の汎用性を高めることを目指す一方、国語科との連携における小中学校の英語教育も射程に入れています。



教授 羽田 潤

【研究分野】
国語科教育、メディア・リテラシー、ICT教育、サブカルチャー
【担当科目】
国語科授業実践研究

【メッセージ】

多様なメディアを用いて、教材開発を行なっています。写真、絵本、マンガ、児童文学、小説、雑誌、広告、CM、ドラマ、ニュース番組、ドキュメンタリー、アニメーション、映画等、児童・生徒が日常的に楽しんでいるものを対象に、その特性をあきらかにし、教材化につなげるための作業を行なっています。



教授 吉川芳則

【研究分野】
国語科教育、説明的文章、論理的思考力
【担当科目】
国語科授業実践研究

【メッセージ】

読むこと(わけても説明的文章)領域を中心に、学習活動論や学習指導過程論の観点から、学習者が主体的に取り組む国語科授業の要件について研究しています。



准教授 竹口智之

【研究分野】
日本語教育、社会言語学、日本語教育史、動機づけ、複線経路等至性アプローチ
【担当科目】
外国人児童生徒の指導と多文化共生

【メッセージ】

みなさんが学んできた「国語」とは全く異なった方法で、日本語を学ぼうとしている子どもたちがいます。そしてそれは何も外国だけにいるわけではありません。子供たちの日本語学習を少しでも楽しいものにできるよう、一緒に考えてみませんか？



講師 児島啓祐

【研究分野】
古典文学、古典教育、中世文学
【担当科目】
国語科授業と文学表現

【メッセージ】

日本の古典文学が生まれた時代の学問や宗教思想を踏まえて、作品の魅力を新たにつかみ直す研究をしています。昔のものを深く読むためには、昔の人のもの考え方徹底的に寄り添うことが有効であると考えています。

国語分野には、現在、2年生8名(内、現職教員6名)、1年生16名(内、現職教員9名)の院生が所属しています。下記は研究テーマの例です。「短歌鑑賞の観点獲得実践」「文学教材における比べ読み学習での読みの発達」「主題を捉える方略の創造と獲得を目指した実践の検討」「中等教育における英語・現代文・古文の有機的なカリキュラムの開発」「高等学校における古文読解の体感的理解を促す教授法の研究」「高校国語科において役割語は批判的思考を養うのに効果的か」「問いを喚起する読みの方略」「小学校における動画を学習材とした国語単元学習の開発と実践」

